

2018年4月13日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 田辺 有輝

Bangladesh国マタバリ超々臨界圧石炭火力発電事業（有償資金協力）
環境レビューに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2018年3月9日（金）14:00～16:55
- ・場所：JICA 本部（1階 111会議室）
- ・ワーキンググループ委員：作本委員、鈴木委員、田辺委員、林委員、升本委員
- ・議題：Bangladesh国「マタバリ超々臨界圧石炭火力発電事業」環境レビューについての助言案作成
- ・配布資料：
 - ・環境影響評価報告書及び添付資料
 - ・住民移転計画及び添付資料
 - ・環境レビュー方針案
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第89回助言委員会）

- ・日時：2018年4月13日（金）14:30～17:10
- ・場所：JICA 本部（1階 113会議室）

上記の会合にて助言を確定した。

助言

環境配慮

1. 代替植樹の検討に際しては、樹種及び植栽場所に配慮して実施するよう申し入れること。
2. 生態系への広域影響を考慮して、引き続き慎重にモニタリングを実施することを申し入れること。
3. 土取り場における環境社会影響について、土砂の調達を行うコントラクターがかかる配慮を適切に行うよう、実施機関に申し入れること。

社会配慮

4. 周辺の土地の購入取引件数について引き続き確認の努力を行うこと。
5. 周辺の海洋生態系が変化する中で、漁業の将来性に見合ったトレーニングを行うよう働きかけること。

ステークホルダー協議・情報公開

6. 今回、モニタリング期間中に重大な変更が生じたことを踏まえ、バングラデシュ政府に対してモニタリング結果の公開を引き続き働きかけること。

以 上